

# 琵琶湖の美しい風景と水、 緑豊かな森林を守るために

## 淡海森林クラブ (滋賀県)

滋賀県民のみならず、  
近県住民も活動に参加

滋賀県の森林ボランティア団体、「淡海森林クラブ」は平成十一年の十二月に発足しました。琵琶湖の水源である淡海の森林を守り、育てることに貢献するとともに、森林への理解を深めることを活動の目的にしています。現在、会長を務めているのは田淵健さん。現在の会員数は二二二名。活動は琵琶湖周辺全域にわたります。

「活動は県全域で、年間二〇回ほど行っています。主な活動内容は下草刈り、枝打ち、間伐、竹林整備などで、隣県グループと組んで作業を行うこともあります。間伐材を利用して歩きやすいように段差をつけたり、流れ止めをつけたりして、ハイキング道を整備することも活動のひとつです。この数年は依頼を受け、学校の整備も行いました。各小学校の林の間伐を行い、子供たちが遊べる広場を作ったりするんです」

### 母なる琵琶湖の水を 支えるのが父なる森林

滋賀県の面積の六分の一を占めている琵琶湖。その湖水は瀬田川、宇治川、淀川と名称を変えて、大阪湾へと至り、京都市や淀川流域の水道水にも使用されています。淡海森林クラブの会員が滋賀県の方たちだけで構成さ



淡海森林クラブのメンバー

れていないのも、近県の方たちの森と水への感謝の想いがあるからです。

「京都、大阪、神戸に住んでいらっしやる会員の方も遠くから参加していただいています。滋賀県の水を授かっているという想いで「水源である森を守り、育てていくことに貢献したい、森林に親しみたい」と思っています。平成一十九年度の活動に参加していただいた方は総数で四三五名にのぼりました。今後の取り組みとしては間伐材で公園のベンチを作ったり、滋賀県の観光名所、深坂地蔵(西浅井町)周辺



犬山郡多賀町の高取山で森林整備



上・中：大津市にある「結いの森・藤尾」で専門家の指導のもと作業  
下：東近江市にある宇曾川ダム周辺の整備も行なっています

の林内整備を行いたいと思っています」  
交通手段が車しかないフィールドで活動することが多いため、「最近はおソリン価格の高騰がボランティアの参加者への負担となっているのが悩みの種です」と話してくれた田淵さん。そんな状況の中、もっと淡海森林クラブの行っている活動を広く知ってもらうことが必要だと考えています。「マザーレイク」である琵琶湖の大切な水を守ること、森林を守ることはイコールなのです。  
「私たちのキャッチコピーは、ぐみずとみどりをおみんなのあせで、」なのですが、山に入っ  
て汗を流して楽しく環境問題に取り組んでいきたいですね。マザーレイクのパートナーは

ファザーフォレスト。母なる琵琶湖の水を支えているのが父なる森林なんです。私たちはそのファザーフォレストに寄与していきたいと考えているんです」

data

〒 520-0843

滋賀県大津市北大路三丁目 14-32

☎077-533-0523 (FAXのみ)